

アンダーフラッシュ操作の実施について（お知らせ）

長良川河口堰では、「長良川河口堰のさらなる弾力的運用」の取組みとして、平成23年度の夏期（4月～9月）から、堰上流域底層溶存酸素改善のためのアンダーフラッシュ操作の開始基準を変更し運用することから、フラッシュ操作の実施について、お知らせするものです。

平成23年5月20日



独立行政法人水資源機構長良川河口堰管理所

発表記者クラブ

中部地方整備局記者クラブ
岐阜県政記者クラブ
三重県政記者クラブ
桑名記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 長良川河口堰管理所

環境課長 にわ けんいち 丹羽 賢一

住 所：三重県桑名市長島町十日外面 とおかども 136番地

電 話：0594（42）5012

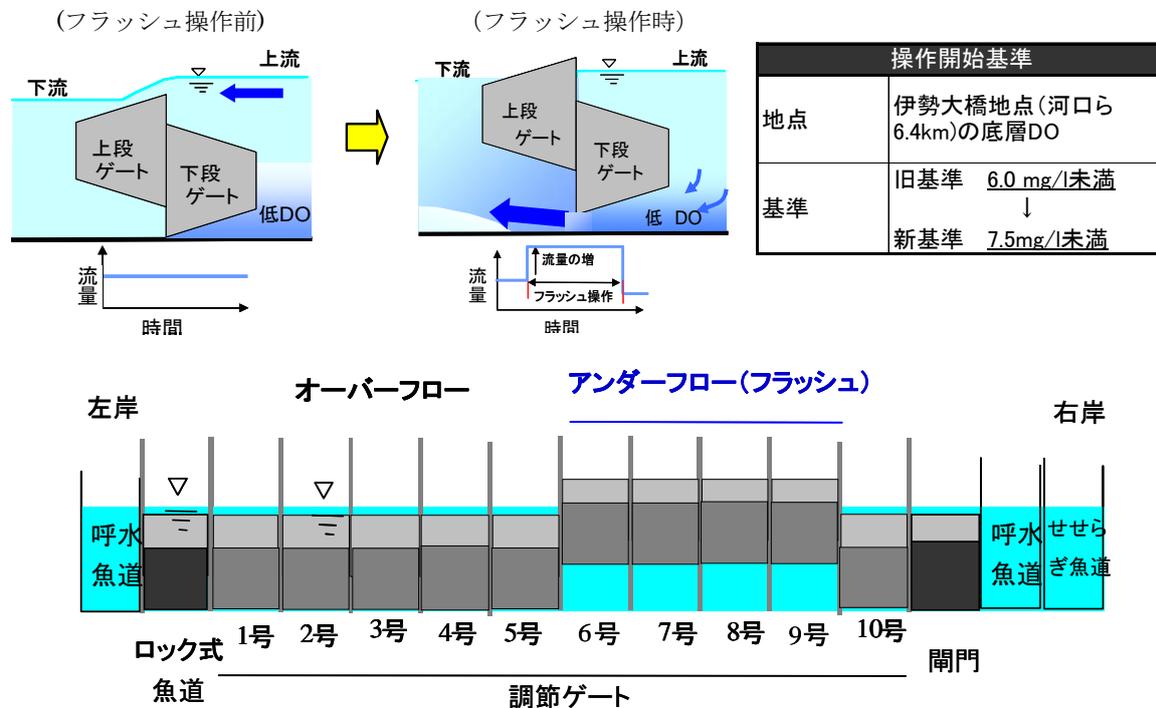
アンダーフラッシュ操作の実施について（お知らせ）

長良川河口堰では、「長良川河口堰のさらなる弾力的運用」の取り組みとして、平成23年度の夏期から、堰上流域底層溶存酸素改善のためのアンダーフラッシュ操作の開始基準を変更し運用することから、フラッシュ操作の実施について、お知らせするものです。

1. アンダーフラッシュ操作について

河口堰上流域では、水温が上昇すると底層の溶存酸素量（DO）の一時的な低下がみられます。このため、夏期（4月～9月）において、底層の溶存酸素量（DO）が低下した場合に、塩水が侵入しない範囲内でアンダーフロー（調節ゲート6～9号）により一時的に堰放流量を増大させ、堰上流の底層DOの改善を図ります。

平成23年度からは、操作の開始基準を伊勢大橋地点底層溶存酸素濃度（DO）6.0mg/l から7.5mg/l に変更して運用します。今回、新たな基準によるフラッシュ操作を開始したためお知らせするものです。



2. アンダーフラッシュ操作の実施状況

実施日	時間		放流量(m ³ /s)		実施時の溶存酸素濃度 (伊勢大橋地点底層)
	開始	終了	開始前	最大	
平成23年5月19日	21:20	21:50	40	330	6.8mg/l (7.5mg/l未満)
平成23年5月20日	8:30	9:00	45	320	7.0mg/l (")

3. 今後のお知らせについて

今後は、フラッシュ操作を実施した時には、毎週お知らせしています「長良川河口堰の管理状況」にて、お知らせしていきます。

※ 長良川河口堰の更なる弾力的運用についての取り組み及び管理状況については、ホームページに掲載しています。 http://www.water.go.jp/chubu/nagara/14_kanri/index.html